

2024年度

シラバス

理学療法学科 第4学年



学校法人 協栄学園
伊勢志摩リハビリテーション専門学校

理学療法学科 第4学年 目次

キャリアアップセミナー	1 ~ 4
総合臨床実習	5

【科目名】 キャリアアップセミナー

学年	4年	学科	理学療法学科	単位数	15単位	時間数	225時間	履修時期	通年
担当教員名 (基本情報 / 資格)	岩崎 武史 (非常勤講師 / 理学療法士) 杉浦 令人 (非常勤講師 / 理学療法士) 伊東 利一 (非常勤講師 / 理学療法士) 向井 真司 (非常勤講師 / 理学療法士) 山本 篤志 (非常勤講師 / 理学療法士) 安藤 正和 (非常勤講師 / 理学療法士) 横井 克佳 (非常勤講師 / 理学療法士) 丸山 高志 (非常勤講師 / 理学療法士) 寺尾 幸恵 (非常勤講師 / ケアマネジャー) 山口 倫直 (専任教員 / 理学療法士) 山本 剛生 (専任教員 / 理学療法士) 林 修平 (専任教員 / 理学療法士)				コアカリキュラムコード	E-7 E-6-8 E-6-11			
					科目区分	専門			

授業概要 (一般目標: GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なリハビリテーションの分野について学ぶ。 ・症例をもとにケーススタディを行い、臨床推論能力を培う。 ・総合臨床実習前後にOSCEを含めた課題を行い、臨床技能の向上と症例への理解を深める。 ・ケアマネジャーの業務とケアマネジメントの実際を学ぶ。 ・国家試験対策と卒業試験を実施し、国家試験合格を目指す。
学生が達成すべき目標 (到達目標: SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別のリハビリテーションについて説明できる。 ・臨床推論の思考過程について説明できる。 ・総合臨床実習前後にOSCEを実施し、臨床技能を向上することができる。 ・症例をまとめ、報告(プレゼンテーション)をすることができる。 ・ケアマネジャーの業務とケアマネジメントの実際を説明できる。 ・卒業試験に合格できる。

回	授業内容	担当
1	回復期リハビリテーションについて ①	岩崎
2	回復期リハビリテーションについて ②	
3	介護老人保健施設におけるリハビリテーションについて ①	杉浦
4	介護老人保健施設におけるリハビリテーションについて ②	
5	がんリハビリテーションについて ①	伊東
6	がんリハビリテーションについて ②	
7	訪問リハビリテーションについて ①	向井
8	訪問リハビリテーションについて ②	
9	神経難病 症例検討・ディスカッション ①	
10	神経難病 症例検討・ディスカッション ②	山本(篤)
11	重症心身障がい児に対するリハビリテーション ①	
12	重症心身障がい児に対するリハビリテーション ②	安藤
13	起立動作の動作分析	
14	起立動作に必要な解剖学・運動学	
15	起立動作 臨床応用	
16	歩行の介入について ① 視点・問題点の抽出	

回	授業内容	担当
17	歩行の介入について② 歩行周期	安藤
18	歩行の介入について③ ロッカーファンクション	
19	pain control 痛み学	
20	facial release 筋膜の構造と理解について	
21	計測、触診時のタッチについて 実技(股関節周囲・肩関節周囲)	
22	臨床での動作分析とその応用 重力と床反力	
23	系統発生学からみた骨格・筋・歩行	
24	股関節術後症例(動作分析中心)	
25	急性期リハビリテーションについて①	
26	急性期リハビリテーションについて②	
27	リハビリテーションおよび理学療法におけるトピックス①	
28	リハビリテーションおよび理学療法におけるトピックス②	
29	動作分析・アライメント評価①	山口
30	動作分析・アライメント評価②	
31	脳血管障害の姿勢の特徴 症例紹介・評価と治療①	
32	脳血管障害の姿勢の特徴 症例紹介・評価と治療②	
33	脳血管障害の治療体験 ADL体験・指導方法①	
34	脳血管障害の治療体験 ADL体験・指導方法②	
35	中枢神経機構アプローチ placing体験	
36	症例検討(脳血管障害・脊髄空洞症)	
37	総合臨床実習 オリエンテーション 実習前・後OSCE 実習発表準備・発表など	林
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47	国家試験対策 脊髄損傷の解剖学・生理学	横井
48	国家試験対策 脊髄損傷の統計	

回	授業内容	担当
49	国家試験対策 脊髄損傷の呼吸障害	横井
50	国家試験対策 脊髄損傷の皮膚障害	
51	国家試験対策 脊髄損傷の尿路障害	
52	国家試験対策 脊髄損傷の装具 手の装具・下肢装具	
53	国家試験対策 脊髄損傷のADL 合併症	
54	国家試験対策 脊髄損傷 動画演習「脊髄損傷のADL」	
55	ケアマネジャーの業務と実際	寺尾
56	ケアマネジメントの実際	
57	ケアマネジメントの実際 演習①	
58	ケアマネジメントの実際 演習②	
59	国家試験対策・模擬試験・卒業試験	山本(剛)
60		
61		
62		
63		
64		
65		
66		
67		
68		
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		

回	授業内容	担当
84		
85		
86		
87		
88		
89		
90		
91		
92		
93		
94		
95		
96		
97		
98	国家試験対策・模擬試験・卒業試験	山本(剛)
99		
100		
101		
102		
103		
104		
105		
106		
107		
108		
109		
110		
111		
112		
113		

授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他
学習資源	<input type="checkbox"/> 教科書 <input checked="" type="checkbox"/> 講義資料 <input checked="" type="checkbox"/> PC <input checked="" type="checkbox"/> モニター(プロジェクター) <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> 模型 <input type="checkbox"/> その他
成績評価 (方法・基準)	方法： <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> その他 基準：卒業試験の合格をもって単位認定とする。評価は、卒業試験の結果を基準とする。
教科書	特に指定なし。
参考書	特に指定なし。
準備学習 (学習へのアドバイス)	各講師によって準備物などが異なるため適宜、教務に確認する。

【科目名】 臨床総合実習

学年	4年	学科	理学療法学科	単位数	14単位	時間数	630時間	履修時期	通年
担当教員名	林 修平(臨床実習担当)			コアカリキュラムコード		F-1 F-2 F-3 F-4 F-5			
基本情報	専任教員			資格	理学療法士		科目区分	専門	
実務経験	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第二条に定める教員要件を満たす。健康科学専攻修士課程を修了している。10年以上の臨床経験(通所・訪問リハビリテーション等)を活かし、実習前の準備や実習中の学生サポート、実習後の学習成果を評価する。								

授業概要 (一般目標:GIO)	授業内容を参照。
学生が達成すべき目標 (到達目標:SBO)	授業内容を参照。
人間総合科学大学 単位認定科目	該当科目なし。

回	授業内容	担当
	学外実習施設における総合実習。(7週間×2回) 【 総合実習 目標 】 1) 職員、対象者に対して、社会人として相応しいコミュニケーション(適切な挨拶・言葉遣い)がとれる。 2) 理学療法士の業務内容、位置づけ(他部門との関わり)を把握する。 3) 対象者の全体像の把握について指導下で理解できる。 4) 検査測定結果の統合と解釈について指導下で理解できる。 5) 対象者の生活機能をICFの観点で整理し、ケースを全体的・構造的に把握することについて指導下で理解できる。 6) 問題点の抽出について指導下で理解できる。 7) 各検査データを相互に影響を及ぼす因子を見つけ出しケースの障害像を把握することについて理解できる。 8) 問題点解釈の優先順位の設定について指導下で理解できる。 9) 対象者の理学療法の短期ゴールについて指導下で理解できる。 10) 対象者の理学療法の長期ゴールについて指導下で理解できる。 1) ~ 10)の内容を踏まえ、対象者の基本的な理学療法治療、指導計画について指導下で理解できる。	林

授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他
学習資源	<input type="checkbox"/> 教科書 <input checked="" type="checkbox"/> 講義資料 <input checked="" type="checkbox"/> PC <input checked="" type="checkbox"/> モニター(プロジェクター) <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> 模型 <input type="checkbox"/> その他
成績評価 (方法・基準)	方法： <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> その他 基準：経験症例報告書、理学療法初期記録表、実習前後OSCE、症例報告、振り返りシートなど総合的に評価する。
教科書	特に指定なし。
参考書	「リハビリテーション基礎評価学」(羊土社) 「新・徒手筋力検査法」(協同医書出版) 「ベッドサイドの神経の診かた」(南山堂) 「PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定」(金原出版) 「理学療法ハンドブック (第1~4巻)」(協同医書出版)
準備学習 (学習へのアドバイス)	「臨床実習学生の心得」を熟読し、実習に望むこと。 総合実習終了後は、面談を行いフィードバックを行う。

